会議録

1 附属機関の名称

犬山市通学路安全対策連絡協議会

2 開催日時

令和5年1月20日（金） 午後3時から4時まで

3 開催場所

市役所2階 205会議室

4 出席した者の氏名

- (1) 委員 山口勝司、岩田俊樹、神谷勝治、内藤慎二、鈴木光史、曾我公彦
稲山達也、山田健爾（代理：佐藤）、兼松光春（代理：吉野）
吉田昌義、高橋秀成
- (2) アドバイザー 磯部友彦
- (3) 事務局 滝教育長、中村教育部長、大黒学校教育課長、松岡学校教育課主査補

5 協議事項

- (1) 令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表について
- (2) 対策予定箇所一覧
- (3) 令和4年度通学路安全対策実績について（ソフト事業）
- (4) 交通指導員の配置について
- (5) 対策箇所等の公表について

6 傍聴人の数

0人

7 内容

事務局：

本日はお忙しい中、令和4年度第2回犬山市通学路安全対策連絡協議会のご出席ありがとうございます。本日の司会進行をつとめさせていただきます、犬山市教育委員会学校教育課長の犬黒と申します。よろしくお願いいたします。

この協議会は、犬山市教育委員会の附属機関として設置し、市内の通学路における児童生徒の交通安全及び防犯・防災上の安全を確保するために、必要な事項を協議、調査することを目的としています。この会は、犬山市通学路安全対策連絡協議会規則に基づき運営してまいります。また、附属機関の会議は公開とし、傍聴が可能となります。今日は、傍聴人の出席はございません。会議録には、附属機関の長が指定した者2人以上の署名をし、市ホームページへ掲載し

ますので、ご承知おきください。

それでは、会長の山口様よりごあいさつをお願いします。

山口会長：

～あいさつ～

事務局：

ありがとうございました。

続きまして、委員の欠席をご報告します。本日、公務等の理由により若原委員、山田委員、渡邊委員が欠席です。一宮建設事務所から佐藤様が出席していただいています。また、兼松委員の代理で吉野様が出席しています。

それでは、協議事項に入る前に、本日の配布資料の確認をさせていただきます。

まず、本日の配布資料の確認をさせていただきます。

- 1 犬山市通学路安全対策連絡協議会次第
- 2 犬山市通学路安全対策連絡協議会委員名簿
- 3 犬山市通学路安全対策連絡協議会規則
- 4 資料1 令和4年度通学路安全施設 新設・改修要望箇所一覧表について(ハード事業)
- 5 資料2 対策予定箇所一覧
- 6 資料3 令和4年度通学路安全対策実績について(ソフト事業)
- 7 資料4 交通指導員の配置について
- 8 資料5 対策箇所等の公表について

不足等よろしかったでしょうか。

それでは、協議事項に入りたいと思います。協議事項の進行につきましては、犬山市通学路安全対策連絡協議会規則に基づき、会長の山口委員をお願いいたします。

山口会長：

規則に基づき議事を進行させていただきます。議事を円滑に進めていくため、皆様のご協力をいただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。まずは、先ほど事務局より説明のあった会議録の署名は、会長の私と副会長の岩田委員で行います。

それでは次第に従い進めさせていただきます。協議事項(1) 令和4年度通学路安全施設新設・改修要望箇所一覧表についてのハード事業、協議事項(2) 対策予定箇所一覧についてを事務局より説明をお願いします。

事務局：

資料1、資料2について説明

山口会長：

協議事項(1)、(2)についてご質問ご意見はありませんか。

佐藤（代理）：

一宮建設事務所から県の対策について、補足になりますがこの場を借りて説明させていただきます。

資料1の7ページの楽田小学校の優先順位9番、13ページ南部中学校の優先順位2番の県道での単独の横断道路のカラー舗装の要望対策についてですが、過去には県道でも学校からの要望に対してカラー舗装を実施していたが、今年度より、カラー舗装というのは、原則、国から指定を受けている事故危険箇所といった死傷の事故率や交通死亡事故といったある程度基準が高くなっているものから優先してカラー舗装の対策をさせていただくことになっています。今までは、通学路対策におけるカラー舗装の要望を受けていたが、カラー舗装の要望ではなく横断前後の注意喚起対策といった要望を挙げていただけると注意看板や路面標示など、別の対策の検討が可能なので現場で検討し回答させていただくのでそちらのほうでよろしくお願いたします。

山口会長：

ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

鈴木委員：

警察からはハード面の対策について説明します。

警察では主に信号機や横断歩道の設置や検討をしています。信号機というのは、すぐに設置できるものではなく、交通量を調査して、必要性に応じて、順次設置しています。要望が挙がってから、1、2年かかるものもありますが、重要度の高い、例えば小学生の通学路で交通事故が発生しているような場所は早く設置するようにしています。

資料1の9ページ、犬山西小学校の1、2番で、犬山警察署のほうで今年度中に信号を増設します。只今、歩行者用信号のみのところを歩車分離信号へ改良します。これは、車が進む信号と歩行者が進む信号が違うということで、物理的にこれを守ってもらえば、歩行者が轢かれるということはないという信号です。今後、このような信号が増えていくということになりますが、重要度や要望を検討して、順次、設置を進めたいと考えています。

また、横断歩道についても多くの要望があります。ただ、横断歩道をたくさん設置すればいいというわけではなく、基準があります。子どもたちが安全に待てるスペースがあって、道路の見通しがいい場所でない、例えば坂を上った所に横断歩道をつけると、歩行者の方は分かっても、車のほうは横断歩道の存在が分かりにくい。表示や標識をつけますが、非常に危なくなってしまうということもあり、横断歩道は慎重に必要と十分な安全性を確保できるかどうかということを検討して設置しています。特に速度規制がない60kmの道路で横断歩道をつけると、名古屋高速も60kmですが、名古屋高速に横断歩道が設置してあるような感じで非常に危ないということで、警察としては40kmもしくは50kmの道路で横断歩道を設置することを考えています。

また、ハード面では標識の修理を順次行っています。あと細かなことですが、交通量に応じて子どもたちが渡る時間が非常に短いという所は、交通量を精査して必要に応じて信号の時間のサイクルの調整をしています。今年も何件か調整をした場所がありますので、またそのようなご要望があれば警察まで言ってくださるとありがたいです。

山口会長：

ありがとうございました。他に何かございませんでしょうか。

吉田委員：

土木管理課からは対策工事の進捗状況等の報告をします。令和4年度に実施予定の箇所併せて当初今後に行う予定だった箇所を前倒しして対策工事を行っています。併せて、令和3年度に実施した小学校の通学路緊急合同点検に基づく危険箇所についても対策工事を実施しています。工事発注は既に完了し、年度末までにはすべて完了する予定です。

資料2の6番について、カラー舗装、外側線を塗る予定になっていますが、昨年9月にトンネル内の壁が剥がれました。最近、中日新聞にも大きく掲載されましたが、壁の剥離で現在通行止めになっています。対策工事については検討中で、令和5年度末までに行う予定になっています。その対策工事が終了してから、カラー舗装、外側線を塗る対策を行う予定になっています。

また昨年度、愛知県警と公安委員会さんと合同点検を実施し、狭窄横断歩道の対策施行の助言をいただき犬山市でも検討をしてきました。場所は南小学校の通学路で、犬山口駅から万願寺までの三ヶ所の横断歩道で、狭窄横断歩道をやったらどうかということで検討してきました。犬山口駅から万願寺までは昔からの道路で、交通量も多く、狭窄まで物理的にするのではなく、今年度は横断歩道の回りをカラー舗装し、視覚的な対策を行います。

山口会長：

ありがとうございました。他に何かございませんでしょうか。

神谷委員：

この資料1は、昨年度まで学校に通知されていた様式と違いますがこの協議会だけのものですか。それとも今年度から学校にこの様式で報告しますか。

事務局：

昨年度も学校には関係機関からの回答を明記したものを報告しています。

神谷委員：

ただ昨年に頂いたものを見てきましたが、この資料とは様式が違っていました。真ん中辺りの列の担当部署以下右側が無い資料をいただいています。学校には担当部署の回答欄が付いたものを報告してほしいです。

また、今の資料の説明や話の展開が早くてついていけないのと、専門用語が多く、理解するのがなかなか難しいです。これをまた私達が保護者に説明するのはなかなか難しいです。以前、ここで審議して、対策が難しい場所はもう学校から出さず、他の場所を要望したらいいという話を聞いたことがあります。もしそうであるならば、保護者に説明する時には、今のように専門の方たちがこう言っているのだとお伝えしないと何度も学校から要望が出てしまいます。だから今日のような説明を保護者の方にもできるといいですが、それは難しいので、以前頂いていた担当部署の右列が削除されたものではなくこの資料を頂ければ、専門の方たちがこのよう

なことを仰っているということが明らかに見て分かるのですごく助かりますし、保護者にも説明できます。

事務局：

この件に関しましては、担当部署の回答を分かりやすく学校には報告します。

山口会長：

他に何かございませんでしょうか。

続きまして、協議事項（３）ソフト事業の令和４年度通学路安全対策実績について、協議事項（４）交通指導員の配置についての説明を事務局よりお願いします。

事務局：

資料３、資料４について説明

山口会長：

協議事項（３）、（４）についてご質問ご意見ありませんか。

鈴木委員：

警察交通課がどのような協力をし、安全対策をしているかということを中心に説明させていただきます。

交通安全教室は幼稚園から高校まで実施しています。園児、小学生には信号の見方、横断歩道の渡り方を中心に安全教室を実施しています。中学生、高校生には自転車の安全な乗り方、特にヘルメットの着用を推奨しています。１月３０日には、誠信高校でスタントマンを使って自転車事故の危険性を分かっていただくような教室を予定しています。

また、交通安全キャンペーンでは、交通安全協会が自治体と連携し、スーパーやショッピングセンターで、交通安全キャンペーンを実施し、反射材などをお配りしています。

警察が行う取り締まりについては、事故状況を分析し、交通事故の起きやすい時間帯、場所を特定して交通取り締まりを実施しています。３０kmの通学路では加配式のオービスを用いて、速度の速い自動車の取り締まりをし、交通安全をはかっています。このようなソフト事業を通じて、昨年の交通死亡事故が、犬山市と扶桑町では０であったことから、皆様のご協力のもと、非常に推進できたと思っています。

山口会長：

ありがとうございました。他になにかありますか。続きまして、協議事項（５）「対策箇所等の公表について」事務局より説明をお願いします。

事務局：

資料５について説明

山口会長：

ありがとうございました。ここまでの説明を受け、ご質問ご意見はございませんか。
それでは議事全体について、アドバイザーの磯部教授からご意見をいただきます。

磯部アドバイザー：

まず、資料4の交通指導員の場所について、私も現地を見にいった経験があります。結構手強いところですね。犬山というのは歴史のあるまちなので、複雑な道路も多いですね。そのまま使うしかないです。長い歴史の中で出来た道なので、簡単には直せない、みなさんが注意するしかないと思っています。交通指導員を配置しましたが、それぞれがドライバーを含めて注意喚起を積極的にしなくてはいけない箇所だと思います。

あと毎回言っていますが、安全な道路というものはありません。いろいろな意味で危険です。それを分かった上で私達は動いていかなければいけないですし、いかに危険性を減らす努力を常にやっていかなければなりません。それを大人たちは分かっているようで、漫然な行動をしてしまうといけないということもありますし、子どもたちがまだ学習できていないので、それを如何に教えていくのか、お互い皆さんが危険意識を持って動いていただくと事故も減るのではないかと思います。一つの要因で事故が起きるのではなく、複数の要因、エラーが重なると事故が起きるとい話があるので、できるだけエラーを起こさない努力を皆さんでやっていく必要があります。

また、資料1にアドバイザーの助言を入れました。この資料は長年にわたって改善しながら作ってきました。最初の頃は現状報告、検討課題と問題点という文面がほとんどなかった時期があり、いきなり改善要望という状況からスタートしたというのを覚えています。そうすると、なぜこれが必要なのかということが分からなかったので、様式を改善しながらどういう問題点、どういう危険性があるかと、文章でまとめてほしいというので改善されてきました。関係機関からの対応というのを要望に対して、できる、できないという返事だけではなく、もっと違う対策をしたらいいのではないかとといった助言やこういう対策はどうですかというのもやっています。ある程度、どうしてもできないこともあるので、できないのであればその理由も書いてもらいます。ですからこれをしっかり読みこなしていただければうれしいです。学校側から出てきたものに対して、よりよい対策のアドバイスになるので、これを読み解いてもらえばいいと思います。さらに役に立つ改良を考えていかななくてはいけないと思っています。病院でいう患者さんのカルテのようなもので、問題に対してどういう対応してうまくいったかどうか、そういった意味での継続性も必要かと思っています。毎年の資料を蓄えて継続できたらいいと思います。

山口会長：

ありがとうございました。ここまでの説明でご質問等ございませんか。

それでは、全ての議事が終了しましたので、これで議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

事務局：

山口会長、どうもありがとうございました。

委員の皆様におかれましては、ご協議をいただきありがとうございました。それでは、最後に事務局を代表して、教育長の滝よりお礼の挨拶を申し上げます。

教育長：

～あいさつ～

事務局：

これもちまして、令和4年度第2回犬山市通学路安全対策連絡協議会を閉会させていただきます。ご協議ありがとうございました。お帰りの際には交通安全でお帰りいただきますようよろしくお願いいたします。ありがとうございました。